語　研　便り

大東文化大学　語学教育研究所広報（2022 年 10 月）

研究発表会のお知らせ

2022 年度、第 2 回研究発表会を下記のとおりオンラインで開催いたします。
ふるってご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

記

日　　時 ： **2022 年 10 月 31 日(月）午前 11 時 00 分～**

参加方法 ： 本発表会は学内限定で Zoom を使用して開催します。
Zoom の URL、ミーティング ID 等は別途メールでお知らせします。
ご不明な点は、語学教育研究所までお問い合わせください。

①発表者 ： **孫 云偉 先生（語学教育研究所 特別研究員）**

題　目 ： 江戸時代『平妖伝』本城訳における漢語の使用状況
―昭和期太田辰夫訳との比較―

概　要 ： 本研究は、日本で翻訳された中国明末の白話小説『平妖伝』における漢語収録状況を分析し、日本における漢語使用の史的考察を試みる。江戸末期本城維芳訳『通俗平妖伝』（1802）に幅広く漢語を取り入れ、「唐話」を重要視する側面を窺える。それに対して、昭和期太田辰夫訳（1967）の漢語使用は随分少ない一方、独自な漢語収録も見える。両訳の漢語収録を分析し、成因を追い求める。

②発表者 ： **李 冬松 先生（語学教育研究所 客員研究員）**

題　目 ： 日本語版『共産党宣言』における
「国民性（nationality)」の訳語変遷

概　要 ： 19～20 世紀の民族解放運動の波の中で、「nationality」という概念は意味が複雑になり、論争的な政治学概念となっていた。本発表は『共産党宣言』のドイツ語原本及び英語、フランス語、ロシア語訳本を用いて、異なる日本語バージョンのこの概念に対する翻訳全貌及び訳語の変遷を考察する。さらに、マルクス、エンゲルスが他の場面で用いたこの概念に触れ、その意味合いを吟味し、日本語版における訳語の適切性を分析する。

以上

［問い合わせ先］語学教育研究所 E-mail : daitogoken@gmail.com